

＼かごしまの地域を元気に！／

## 共生・協働の地域社会づくり

日置市 吹上ワンダーマップ実行委員会

# 芸術を通して地域の魅力を発信し 新しい魅力を創造するプロジェクト

「地域の魅力は、その地域で暮らす人々によってつくられるのではないかと思います。吹上にはたくさん魅力的な人々が住んでいます。創作活動や作品、イベントを通してその魅力を発信することで、地域振興に貢献していければ、と考え活動しています」と実行委員会代表の博多和宏さんは語る。

博多さんは平成18年から日置市吹上の廃校（野首小学校）跡にアトリエを構えて活動している。

吹上ワンダーマップ実行委員会は、博多さんを中心としたアーティストと、地域の公民館や婦人部で構成され、地域の魅力をアートの力で発信しようとするさまざまなイベントを開催している。

「平成20年8月に廃校跡地の野首小学校体育館で『体育館で芸術』と題した県内の若手アーティストによるグループ展を行い、平成21年3月には、若手アーティスト30人による『FUKIAGE WANDER MAP』を開催。吹上地域の8つの会場で作品を展示し、それぞれの会場内では地域の特産物の提供や展示のほか、喫

茶スペースを設けるなど、来場者がくつろげる空間も提供しました」と博多さん。

平成22年2月に開催した「FUKIAGE WANDER MAP 2010」は、商店街の空き店舗を利用したカフェ&バーの運営や協賛企業と共同で焼酎ラベルの制作に取り組みなど、会場数を倍の16に増やし、来場者も延べ1万人を超すイベントに成長した。

「WANDER MAP」には、地図を片手に散歩を楽しむといった意味が込められている。地元企業の協賛で制作・発刊したガイドブックは、地域の人々にスポットを当てた内容構成となっており、従来

の一般的な地元目線の観光パンフレットとは異なる来訪者目線のガイドブックとして好評だ。

「年1回のイベントを開催するだけでは、地域振興と言えないのではないかと思います。今後は、いつ吹上を訪れてもアートが楽しめるような取り組みを考えています」と、実行委員会は来年に向けたプロジェクトの中でさらに進化しようとしている。

地域の魅力を芸術を通して外に伝え、新しい魅力を創造する、そんなまちづくりに取り組んでいる「吹上」に一度足を運んでみよう。



廃校の体育館が再びアートでよみがえり、たくさんの人々にぎわう



アーティストと地域の公民館や婦人部で構成された吹上ワンダーマップ実行委員会の皆さん

### 代表者からひとこと

「地元の反応が自分にとって活力になります。たくさんの人から声をかけられると、自分の地域での役割や存在を肌で感じます。今後、ワンダーマップのイベントを通して吹上地域を世界的な芸術の町にしていきたいですね」



吹上ワンダーマップ実行委員会代表の博多和宏さん

「彼らからはたくさんの方のアイデアと元気をもらえます。地域とアーティストが一体となった取り組みで、吹上地域は盛り上がりつつあります」と話す野首地区公民館の松下志朗さん(右)。



### 共生・協働の地域社会づくりやNPO法人に関するお問い合わせ先

- 共生・協働推進課(県庁9階) TEL.099(286)2241
  - 共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL.099(221)6613
- 関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。